



れるということです。ご存じのように学級活動に与えられている時間は年間35時間しかありません。よほどうまく時間を活用して、効果的な指導をしていかないと、一生懸命取り組んだわりには、子どもたちに力を付けてやるができなかった、という結果に陥ることになりそうです。

さて、自主性を育てる学級経営の基本は問題意識をもつ子どもを育てることだと思っています。子どもたちって、普通の学級生活の中でどのくらいの問題意識を持っているのでしょうか？ 複数の人間を同じ場所で生活をしているわけですから、問題が生じないはずはありません。子どもたちは、人間関係上の問題を自分自身の問題として解決しようとしています。そのために、仲間はずれが起ったり、けんかになったりするのはです。それらを「学級の問題」として意識させ、みんなで解決しようというところへ引っ張り上げないと、それらの問題はいつまでたっても解決しません。かといって、むりやり議題を書かせても何の解決にもつながりません。時間をかけて学級の問題を発見できる力をつけてやるのが大切ではないかと考えるのです。そのために、集会活動への取組が大きな役割を果たしてくれると思っています。

---

## 2 特別活動 実践の課題～アンケートのまとめ その3

---

山口県内小学校の特別活動主任からいただいたアンケートの集計結果です。今回は、各校の特別活動主任が、学級活動を実践していくにあたって課題だと感じていることを書いてもらったものです。

### ◇学級会全般について

- ・学級会の話題の取り上げ方、運営の仕方。
- ・議題箱に意見が入らない。
- ・子ども主体といいながら、教師が引っ張っている現状をどれだけ改善していけるか。

### ◇学級活動で取り上げる内容・議題について

- ・タイムリーな話題を学級活動でどう取り上げたらいいのか。
- ・つい指示・伝達的な内容の学級活動が多く時間をとってしまうこと。
- ・日々の生活の中で各教科や道徳と関連性をもたせてやっているが、年間計画の内容をしっかりとやると、実態からくる必要な学活の時間が取れず、各教科をやはり重視すると特活があまり充実しないこと。

### ◇話し合い活動について

- ・6年間を通しての継続的な指導の在り方（特に話し合いの仕方）に困っている。
- ・学級指導の時間はとっているが、話し合い活動の時間がほとんどとれていないのが実状。話し合い活動の仕方などもきちんと指導していかなくてはいけないのだが、そこまで継続して指導していないのも反省点である。
- ・少人数での活動となると余計にできることが限られてしまう。特に話し合い活動では、自分の意見を言うことはできるが、友達の意見のよさに目を向けて、自分の考えと合わせ

てよりよい方向に進めていこうというところまではなかなか発展しない。

- ・話し合い活動で、子ども達から出された議題について話し合う体制作りはできているが、実際には、代表委員会から提示された議題について話し合うのが精一杯である。
- ・時間の確保が難しいので、教師主導となりやすく、児童に、話し合い活動を活発にし、まとめていく力をなかなかつけられない。
- ・話し合い活動（学級会）復活の必要性がある
- ・少人数の場合、経験も乏しいことから、学級会でなかなか新しい発想が出てこなかったり、ひとつの解決案にとどまったりする。

#### ◇係活動について

- ・係活動の振り返り、評価の仕方
- ・係活動が大きな広がりを見せない
- ・係活動の活性化
- ・係や当番が教師の仕事の下請けになってしまっている。

#### ◇年間計画について

- ・年間計画通りに時間が取れない。
- ・一応学級活動の年間計画はあるのだが、他校の計画例なども参考にして、本当に使えるものにしていかなければならないと思っている。（図書館、性教育、人権教育、給食などから出た計画がバラバラである。）
- ・日々の教科指導や行事等に追われて、年間指導計画通りの学級活動の指導ができていないので、反省している。
- ・児童の、実態に応じて、年間計画が、入れ替わることが多い。それはそれで、大切なことであるが、年間計画が、どのくらい実践されているのかを把握できていないことと、その問題点が明らかになっていない。学校での研修の場合、特に、授業実践においては、教科の研究に目が向きがちで、全教職員による、授業実践の研修は行われにくい実状にある。

#### ◇時間の確保について

- ・他の教科が遅れ気味の時、学級活動の時間の確保ができないこと。
- ・学級活動の時間で様々なものに取り組んでいきたいのであるが、これも上記同様他からのしわ寄せもあり、じっくりと取り組める時間の確保が難しい。
- ・必要最低限（係を決める、児童会からおりてきた話し合いや作業をするなど）のことをするのに時間もなく休憩時間を使っている状態。
- ・学級で話し合ったことをどう実践化につないでいくか。
- ・子どもたちの創意により主体的に活動できる特活の実践。それにともなう時間の確保の仕方

特別活動主任の先生方が実践をするにあたって、いろいろな課題を感じられているようです。読者の皆さんで、「この課題について、こういう解決方法がある」「うちの学校ではこういう取組みをしている」というものがありましたら、情報をお寄せください。

---

### 3 山口学級活動ネットワーク冬の学習会 最終案内

---

山口学級活動ネットワークでは、1月に冬の学習会を行います。

山口学級活動ネットワーク 冬の学習会

期 日 平成20年 1月12日(土)

会 場 山口県教育研修所(セミナーパーク)

内 容

8:30 受付

9:00 開会行事

9:05 基礎講座～新学習指導要領を見据えて

前田(横浜市立西寺尾小) 岸本(赤磐市立軽部小)

脇田(宗像市教育委) 梶田(山口市立平川小)

11:00 学級会バーチャル体験

平野(熊本市立麻生田小)

12:30 昼食休憩

13:30 対談～特別活動の魅力を語る

橋本(新潟市立鏡淵小),

赤坂(新潟市立曾野木小), 三條(新潟市立青山小)

15:15 講演～文科省教科調査官 杉田先生にお話していただく予定です。

16:50 閉会行事

18:30 懇親会

ただいまの参加申込者は58名です。多くの先生方に参加していただきたいと思っています。申込みがまだの方、まだ間に合います。ぜひおいでください。

---

### 4 メルマガ編集部からのお知らせ

---

◆次号の予告◆◇◆

第51号は1月中旬ごろ発行予定です。

次号は、集会活動と学級づくりについての書いてみます。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は194名です。200人まであと少しになりました。もっともっ

とメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

1月は、子どもたちも新しい気持ちで学級に出てきます。その気持ちを学級づくりに生かすにはどういう手だてがあるのでしょうか。そこで、1月の学級づくりについての実践を情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営
- 5月頃 連休明けの学級経営のポイント
- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（防府市立西浦小）  
能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小） 吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====